



インパクトレポート
日本財団
2022年5月1日～2023年3月31日

一般社団法人
根浜
MIND

Introduction

イントロダクション

Atlantic Pacific Japan (APJ) のビジョンは、全ての人が安全な環境で海を楽しみ、海及び海洋生物の保護について学ぶことです。釜石は東日本大震災の被害を受け、それ以来復興に取り組んできましたが、ビーチ利用客は減少し、若者は海から離れた街中で過ごすようになりました。そして人々は、釜石を離れ内陸の大きい街々へ移って行きます。地域の若者の海とのつながりは小さくなり、地域の海に関連する産業や伝統が衰退しています。

APJは、根浜MINDをはじめとする地域の団体と協力して、人々の釜石の海とのつながりを回復することを目指しています。1年間を通してAPJは、釜石市内だけでなくオンラインでも、楽しく興味深い教育プログラムを実施してきました。プログラムを通して、釜石の沿岸地域の復興に貢献すると共に、人々の海に対する自信を育み、海洋保護に対する興味関心を喚起します。本事業の最終目標は、根浜海岸にシーセンターを設立し、通年のアクティビティを通して、海岸、海、そして地域全体の復興を助けることです。



事業成果

日本財団の助成をいただき、今年度APJは大きなプログラムを実施しました。今年度も引き続きコロナウイルスの大きな影響を受け、多くのアクティビティを対面実施からオンラインやリモートでの実施に変更しなければなりませんでした。それにも関わら

ず、APJは海辺で安全に過ごす方法や環境を保護する方法に対して沢山の若者の関心を高めました。

APJは今年度のプログラムで...

- ・ グローバルリーダーシッププログラム（サマー・スプリング）、ファミリーデイ、海のスカウトプログラム、オーシャンリバイバルプログラムを通して、612名の若者と活動
- ・ 地域コミュニティが使用・実験することができるプレシャスプラスチック（プラスチックリサイクル）の機械を4台準備
- ・ 釜石市内の小学校・中学校の授業時間内でAPJ海のスカウトプログラムの実施
- ・ 釜石高校のスーパーサイエンスプログラムの取り組みの一環として、UWC Atlantic との協働プロジェクトを実施
- ・ で活動する地域団体との関係の強化と、シーセンターデザイン案の共有
- ・ APJの根浜での活動を持続可能にする教育プログラムの提供先となる国内外の教育機関とのネットワークの拡大
- ・ での活動をより円滑にし、成長させることができる地域住民をAPJのメンバーとしチームに加入
- ・ 来年度よりAPJの活動が釜石市内小学校及び中学校のカリキュラム内で実施する合意を得るをなど、教育委員会との関係の強化
- ・ 釜石高校と来年度以降もAPJとオーシャンリバイバルプログラムを継続する合意と、関係の強化
- ・ 大船渡でも捜索救難のプログラムを展開して欲しいという依頼を受けた



Global Leadership Programme

グローバルリーダーシッププログラム：夏

2022年8月1日～5日

グローバルリーダーシッププログラム：春

2023年3月24日～29日

夏と春に開催した2度のグローバルリーダーシッププログラムには、合計で91名の応募があり、71名が参加しました。71名の参加者は全国からの参加者（東京、千葉、佐賀、福岡、北海道、沖縄、埼玉、兵庫、宮城、岩手、大阪、神奈川、静岡）に加え、海外（イギリス、ニュージーランド）からの参加もありました。参加者の国籍も、フランス、スペイン、オランダ、イギリス、ニュージーランドなどと多様な参加者が集まりました。参加者と保護者からはプログラムに対して非常に素晴らしいフィードバックをいただきました。

感想

同じ目標をもった全国・世界からの仲間と一緒に過ごした経験は例え4泊5日の短い期間であったとしても将来に響くとても貴重な体験だったと今も実感しています。

71 名の参加者

13 都道府県から

04 カ国から



から全員に

It was great to meet you all!

Amis Fern

保護者の感想

- ・ 友達がたくさんできて楽しかった。
- ・ 海の安全についてもっと知りたいと思った。
- ・ 津波の危険性や被害を知って釜石の人たちがチームとなって復興した話を聞いて感動した。

それ以外にも命を救い方、人命救助の仕方や持続可能な社会に繋げていくための環境への配慮について学んだり話し合うことができ自分の見方が少し変わったと思う。
私はこれから将来自分や自分の後の世代の人たちが幸せに暮らしていけるように今は少しずつでもできることを見つけて貢献していきたい。積極的にプラスチックのリサイクルをしたりなど。と伝えてくれました。





ファミリーデイ

2022/5/7 6/26 10/23

2023/2/27 3/23.24

岩手県釜石・大船渡

ファミリーデイの開催は2022年のほとんどの間で適用されていたコロナウイルス感染対策の影響で困難でした。

そのため、APJはプログラムを開催するためにクリエイティブな方法を模索し、学童を訪れレスキューについての海洋安全教育や海洋環境教育を行ったり、中止にならなかった他のイベントに参加するなどして、海洋安全と海洋環境について学ぶアクティビティを展開しました。

202

名の参加者



海のスカウトプログラム

海のスカウトプログラムを通してますます多くの若者と活動することができました。コロナウイルスによる様々な規制によりクリエイティブな方法を考えなければなりませんでしたが、結果として1年で205名の若者と活動しました。セーリング教室、漁業体験、ライフガードング教室などは小規模で対面で実施しましたが、オンラインでの開催となるプログラムがありました。

7回のセッションに合計で24名のUWC Atlanticの生徒が参加

2022 7/8

甲子中学校：80名（対面での実施）

2022/8/13

盛岡工業高校：20名（対面での実施）

2022/11/7

唐丹中学校：5名（対面での実施）

2023/3/25

釜石市みんホールにて対面で実施：10名

2023/1/20

Zoomで実施：甲子中学校：26名

2023/2/3

Zoomで実施：甲子中学校：24名

2023/2/24

Zoomで実施：唐丹中学校：14名

205

の参加者

感想

これまでは海岸でプラスチックを拾うことしか考えていませんでしたが、英国の高校生との意見交換を通して、プラスチックをリサイクルすることができたら、ゴミを減らすことができるだけでなく、新しいものを買う費用も減らすことができると学びました。

海で安全に過ごすためには、止まって考える、一緒に行動する、浮く、手を振って助けを呼ぶことが大切だとわかりました。



プレシャスプラスチックプログラム（オーシャンリバイバル）

プレシャスプラスチックプログラム（オーシャンリバイバル）もまた成功したプログラムとなりました。英国ウェールズにあるUWC Atlanticの24名の高校生と、釜石高校の18名の高校生が6回オンラインで交流し、海洋プラスチック問題とその解決策について議論し意見交換をしました。このプログラムを通して、両高校から海洋プラスチック問題への解決策として素晴らしいアイデアが沢山生まれました。また、プラスチックをリサイクルする機械を一般の人が体験することができる機会を設け、海洋プラスチック問題について学んだり、廃プラスチックから新たな製品を作る体験をしてもらいました。その経験は参加者は自分自身のプラスチック消費について考え直すきっかけとなったり、プラスチックの消費を減らす動機づけになりました。

2022/10/15 11/19 2023/1/21 2/18 3/12 3/25

釜石高校とUWC Atlanticの生徒の月例ミーティング：6回

プレシャスプラスチックの機械を用いた実験

UWC Atlanticの生徒：24名 釜石高校の生徒：18名

プレシャスプラスチックの機械を用いた活動

2022/9/17

橋野エコハウスイベントでの機械のデモンストレーション

2022/12/22

橋野エコハウスイベントでの機械のデモンストレーション

2022/3/19

橋野エコハウスイベントでの機械のデモンストレーション

2022/8/3 2023/3/27

グローバルリーダーシッププログラムサマーキャンプ、スプリングキャンプでの機械のデモンストレーション





APJ 安全について学ぶ塗り絵

小さい子ども達に対する海洋安全教育として、2022年度も引き続き塗り絵を配布しました。



感想

塗り絵は、小さい子供達が複雑な内容をシンプルにそして楽しく学ぶことができる素晴らしい方法だと思います。



50冊の塗り絵を

大船渡の猪川小学校
学童に配布



感謝

今年度のプログラムを通して、釜石の地域の団体との関係をより強化し、下記の各団体から釜石でのAPJのプロジェクトに賛同を示していただきました。

釜石水泳協会、シーバード釜石、釜石ライフセービングクラブ、釜石トライアスロン協会、一般社団法人United Green、釜石ヨットクラブ、一般社団法人釜石観光物産協会、一般社団法人根浜MIND、Beach Academy 釜石、特定非営利活動法人NPO おはこざき市民会議、海と子どもの未来プロジェクト実行委員会さんりくBLUE ADVENTURE、根浜新交會、釜石東部漁業協同組合

今年度私達は下記の団体と活動を行いました。

宝来館、釜石市役所、釜石教育委員会、東京大学大気海洋研究所、UWC Atlantic、UWC ISAK、My Mizu、Beach Academy、根浜民泊sasaki、ヘリーハンセン、関西大学、文京学院大学、Precious Palstic唐津、Nagoyaインターナショナルスクール

APJは素晴らしいプログラムと一緒に創り上げてくださった全ての方々のお時間、熱意、そしてご健診にお礼申し上げます。日本財団のたぐいなサポート、コアパートナーである根浜MINDの確固たる熱意と応援、そしてAPJのチームに感謝いたします。



Atlantic Pacificの活動が始まった時から、Atlantic Pacificと根浜の方々は常に同じ言葉を共有してきました。「私たちは海の人」という言葉です。この言葉によって地理的な距離に関わらず、私たちは今まで家族のようにつながることができました。海は私たちの魂であり、愛で人生です。これからはずっと私たちは「海の人」であり続けます。そして、今私たちのホームとそこに住むものが人間の無関心さと無為の結果として死んでしまわないように守らなければなりませんそして、海を守る責任を若い人たちに渡しますが、解決のために若者の手助けをしなければなりません。





www.atlanticpacific.org.uk/ja/

 **ATLANTIC
PACIFIC**

一般社団法人
根浜
*M*IND

 **日本
財団**
THE NIPPON
FOUNDATION

海と日本
PROJECT